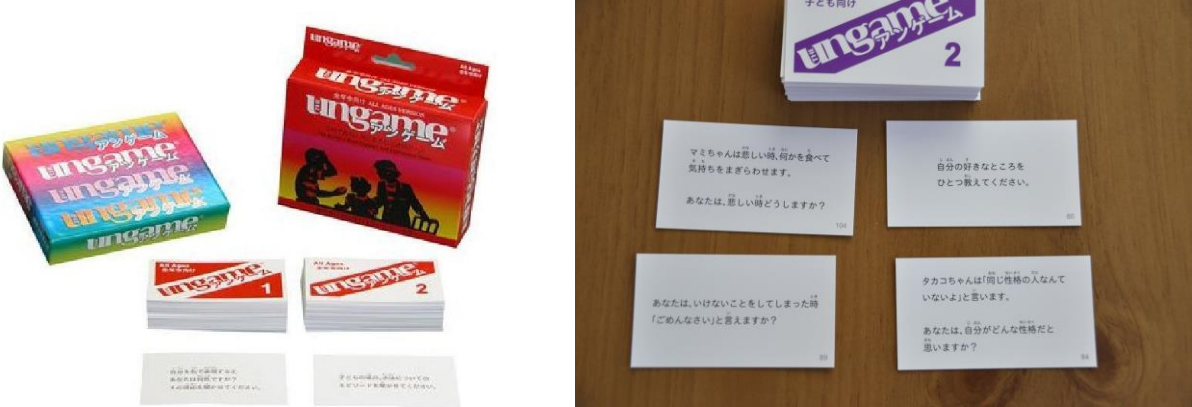


教材名	<h1>アンゲーム</h1>		紹介者	竜海中学校
				
<b>教材の紹介</b>	<p>アンゲームは、アメリカで 300 万以上販売されている定番の自己表現カードゲームの日本語版。コミュニケーションを深める楽しさを味わうために行うゲームで、勝ち負けが必要ではないので、アンゲーム（ゲームではない）と名付けられている。家族から、パーティ、教室、初対面のグループなど、いろいろな場面で使え、コミュニケーションを活性化することができる。ゲームをすることによって、自分の思いを表現することに自信をもつことができるようになり、相手の話を聞きとる力を伸ばすこともできる。年齢別に 3 種類の製品があり、特別支援クラスだけでなく、普通クラスでも使用することができる。</p>			
<b>ゲームの概要</b>	<p>2 名から行うことができる。参加者の真ん中にカードを山にして置き、順番に 1 枚ずつとって、そこに書かれている質問を読み上げて 2～3 文で答える。答えられない時には何回パスをしても良い。聞く人は、黙って聞き、コメントや質問、討論をしてはいけない。コメントカードを引いた時だけ、気になった人に質問をしたり、コメントをしたりすることができる。1 セット 140 枚のカードがあるが、全部使う必要はなく、プレー時間を決めて、途中で終えることは可能である。</p>			
<b>購入の仕方</b>	<p>大型書店、インターネットで購入することができる。教材取次店を通して注文できるので公費で購入することができる。値段は、2000 円程度。</p>			
<b>子どもの反応等</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①他の人は沈黙をして聞くので、話をしている人は緊張せずに心を開いて話すことができ、穏やかな雰囲気の中でゲームを進めることができた</li> <li>②質問内容は、素早く気軽に答えられるように工夫されているので、笑いやジョークがしばしば飛び出し、楽しい雰囲気を作ることができた。</li> <li>③コメントカードを引いた時には気に入った相手に質問できる。事前に話す時の言葉遣いを教えておくことで、正しい言葉遣いを意識して相手と話す練習をすることができた。</li> <li>④答えられない時にはパスができるので、気軽にゲームに参加することができた。何回も順番が回ってくるので、最初はパスが多かった生徒も、だんだん答えられるようになり、話すことが多くなった。</li> <li>⑤ゲームを通して、話す聞くことに温かい雰囲気が生まれた。国語の時間に行って、参加した生徒たちは楽しかったと感想を話した。</li> </ol>			